

# 在宅生活改善調査 集計結果

(調査対象：市内の地域包括支援センター・居宅介護支援事業所)

発送事業所数：19件

回収事業所数：17件

回収率：89.5%

令和5年8月

糸魚川市

# 【在宅生活改善調査】

## 調査の目的

- ・在宅生活改善調査では、「過去1年間」の、①自宅等から居場所を変更した利用者の行先別人数や②自宅等において死亡した利用者の人数、また、現在自宅等にお住まいの方で、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」の、①人数や②生活の維持が難しくなっている理由、③生活の改善のために必要な支援・サービス等を把握します。
- ・そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じ、住み慣れた地域での生活の継続性を高めるために必要な支援やサービス、連携のあり方を検討し、介護保険事業計画に反映していくことを目的としています。

## 調査の概要

- ・アンケートは、居宅介護支援事業所のケアマネジャーの方にご回答いただきます。各ケアマネジャーは担当する利用者について、上記の「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」を抽出し、その概要を回答します。
- ・それぞれのケアマネジャーが判断する、「その方の生活改善に必要な支援・サービス」が「地域に不足する支援・サービス」である、という考え方が基礎にあります。
- ・本調査の集計では、「特養待機者」「その他施設等の待機者」「在宅サービス待機者」という言葉を使用していますが、これは特養のみでなく、その他のサービスの待機者についても同じように把握し、整備の必要性を検討するためのものです。

## 注目すべきポイント

- ・過去1年間で、自宅等から居所を変更した人（住み慣れた住まいで暮らすことができなくなった人）は、どの程度いるか？
- ・現在、生活の維持が難しくなっている人は、どのような人で、どの程度いるか？（継続的に調査し、その人数を減らすことはできないか）
- ・生活の維持が難しくなっている理由、生活改善に必要な支援・サービスは何か？（サービス提供体制の構築方針の検討）

# 過去1年間の実績

# 過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数

- ・ 居所変更先は、「特別養護老人ホーム」の28.9%と「介護老人保健施設」の22.0%でほぼ半数を占めています。
- ・ 「市外への居所変更」は27.2%であり、近隣市のサ高住、住宅型有料老人ホームへの入居傾向を反映しています。

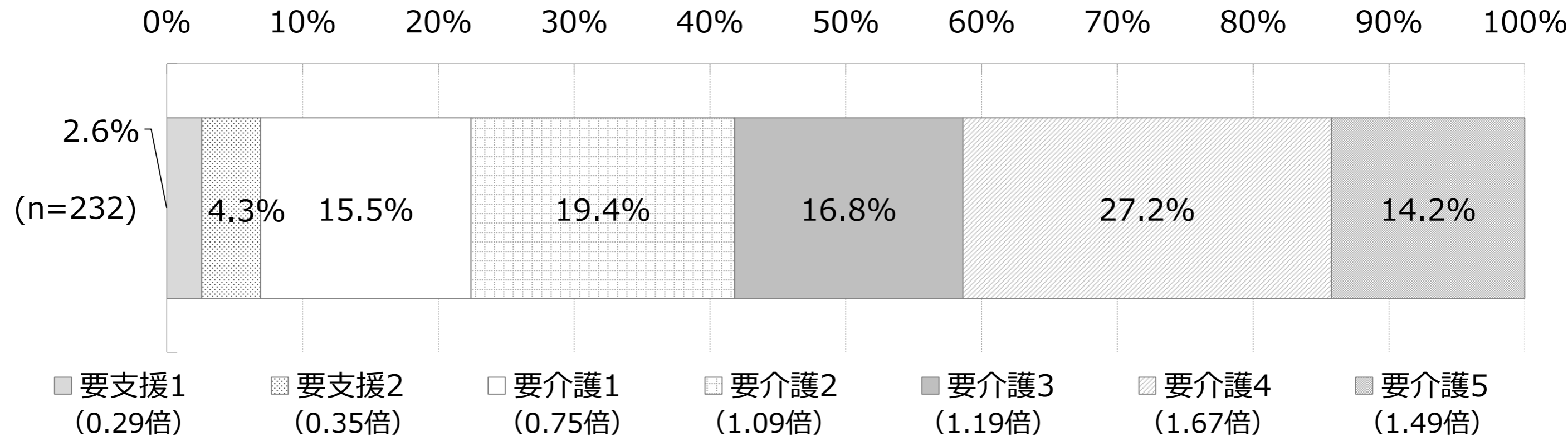
行き先	市内	市外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	2人 0.9%	8人 3.4%	10人 4.3%
住宅型有料老人ホーム	0人 0.0%	13人 5.6%	13人 5.6%
軽費老人ホーム	8人 3.4%	2人 0.9%	10人 4.3%
サービス付き高齢者向け住宅	0人 0.0%	23人 9.9%	23人 9.9%
グループホーム	23人 9.9%	1人 0.4%	24人 10.3%
特定施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地域密着型特定施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護老人保健施設	47人 20.3%	4人 1.7%	51人 22.0%
療養型・介護医療院	0人 0.0%	4人 1.7%	4人 1.7%
特別養護老人ホーム	65人 28.0%	2人 0.9%	67人 28.9%
地域密着型特別養護老人ホーム	11人 4.7%	0人 0.0%	11人 4.7%
その他	9人 3.9%	6人 2.6%	15人 6.5%
行先を把握していない			4人 1.7%
合計	165人 71.1%	63人 27.2%	232人 100.0%

(注1) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。

(注2) 構成比は、セルの色が濃いほど割合が高いことを示しています。

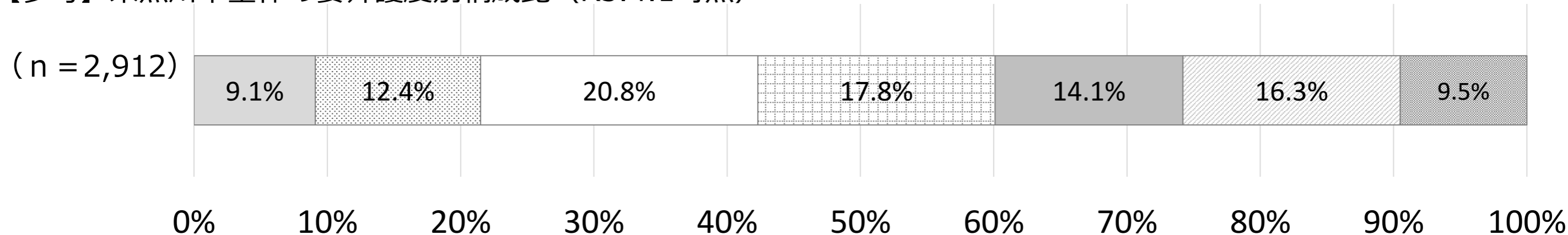
# 過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の要介護度の内訳

- ・「要介護4」が27.2%で最も高く、次いで「要介護2」が19.4%、「要介護3」が16.8%で続きます。
- ・要介護度が上がるほど、居所変更する割合が高くなる傾向がうかがえます。



※凡例下の（ ）内は、下記参考の市全体における要介護度別構成割合に対する居所変更者の介護度別構成割合の対比率を表します。

【参考】糸魚川市全体の要介護度別構成比（R5.4.1時点）

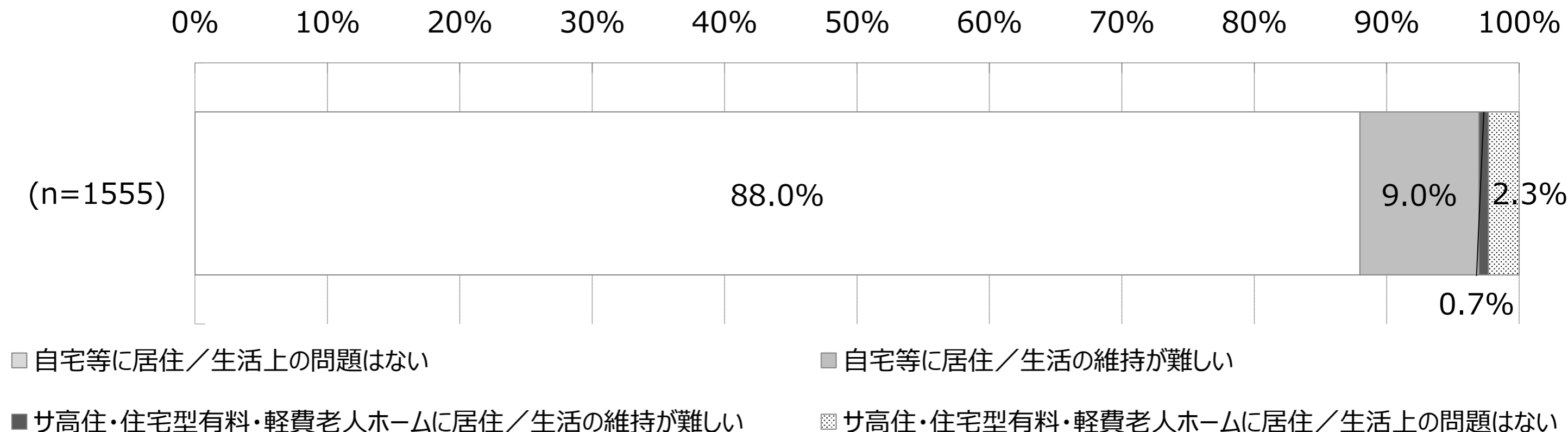


(注) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。また、死亡した方は集計から除いています。

# 現在の利用者の状況

# 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者

・利用者の「90.3%」は自宅等での生活上の問題はありませんが、「9.7%」の方は生活の維持が難しくなっています。



自宅・サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに居住する利用者のうち、生活の維持が難しくなっている割合

糸魚川市全体で、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数



**9.7%**

回答実数

**合計**

**151人**

(要介護2以下)

**98人**

(要介護3以上)

**46人**

(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

# 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

- ・在宅での生活が難しくなっている方の属性の組み合わせは、「独居・自宅・介2以下」が最も多くなっています。
- ・要介護3以上は、施設等への転居が進むため、要介護2以下の方が上位を占めています。

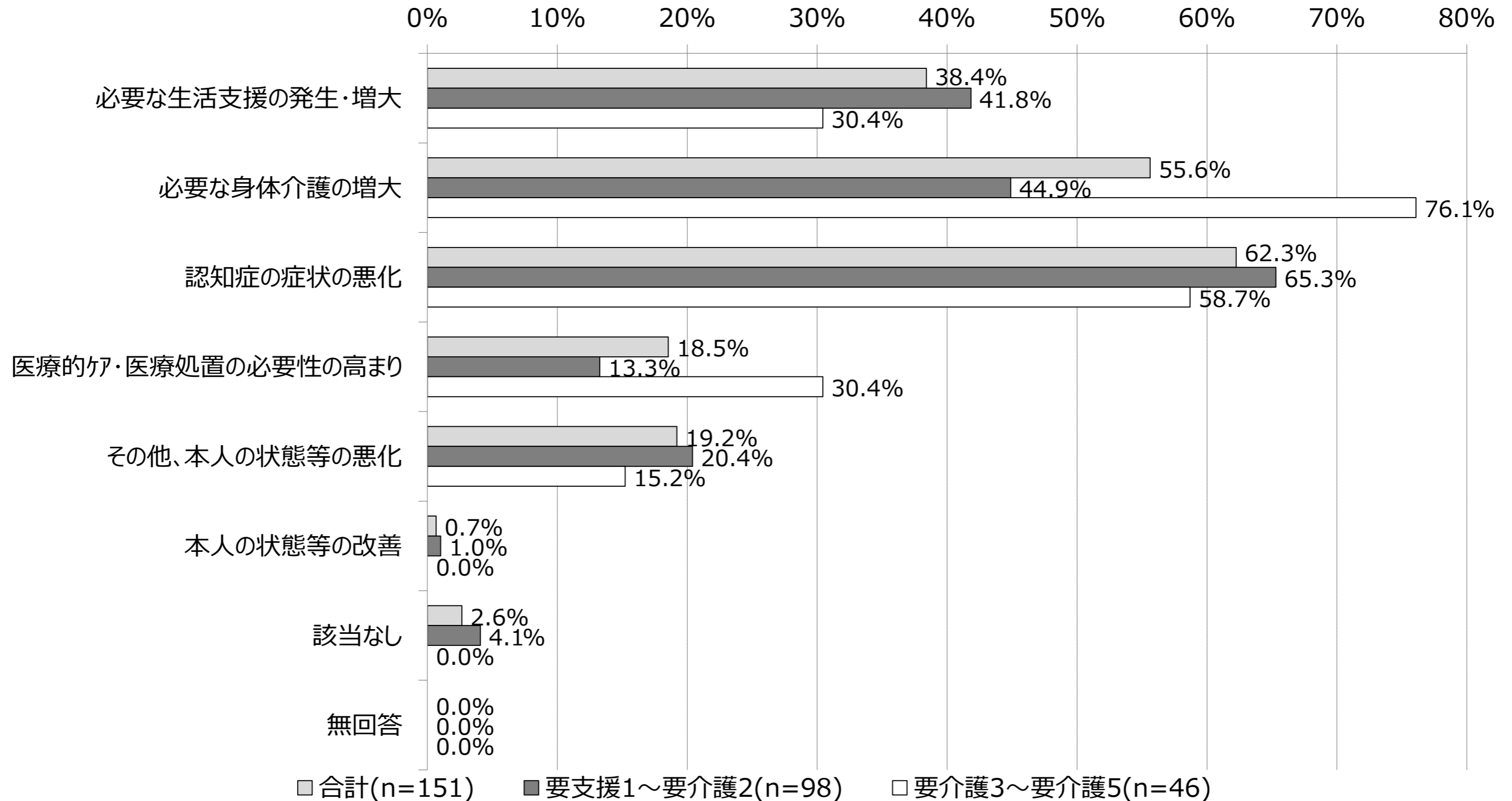
順位 (上位10 類型)	回答実数	割合	世帯類型				居所			要介護度	
			独居	夫婦のみ世帯	単身の子ども との同居	その他世帯	自宅等 (持ち家)	自宅等 (借家)	サ高住・住宅型 有料・軽費	介2以下	介3以上
1	43人	28.5%	★				★			★	
2	17人	11.3%		★			★			★	
3	15人	9.9%				★	★			★	
3	15人	9.9%		★			★				★
5	12人	7.9%				★	★				★
6	11人	7.3%	★						★	★	
7	10人	6.6%			★		★				★
7	10人	6.6%			★		★			★	
9	8人	5.3%	★				★				★
10	2人	1.3%	★					★		★	
上記以外	8人	5.3%									
合計	151人	100.0%									

(注) 「上記以外」には、要介護度が「新規申請中」の方や属性が不明な方を含めています。



# 生活の維持が難しくなっている理由（本人の状態に属する理由、複数回答）

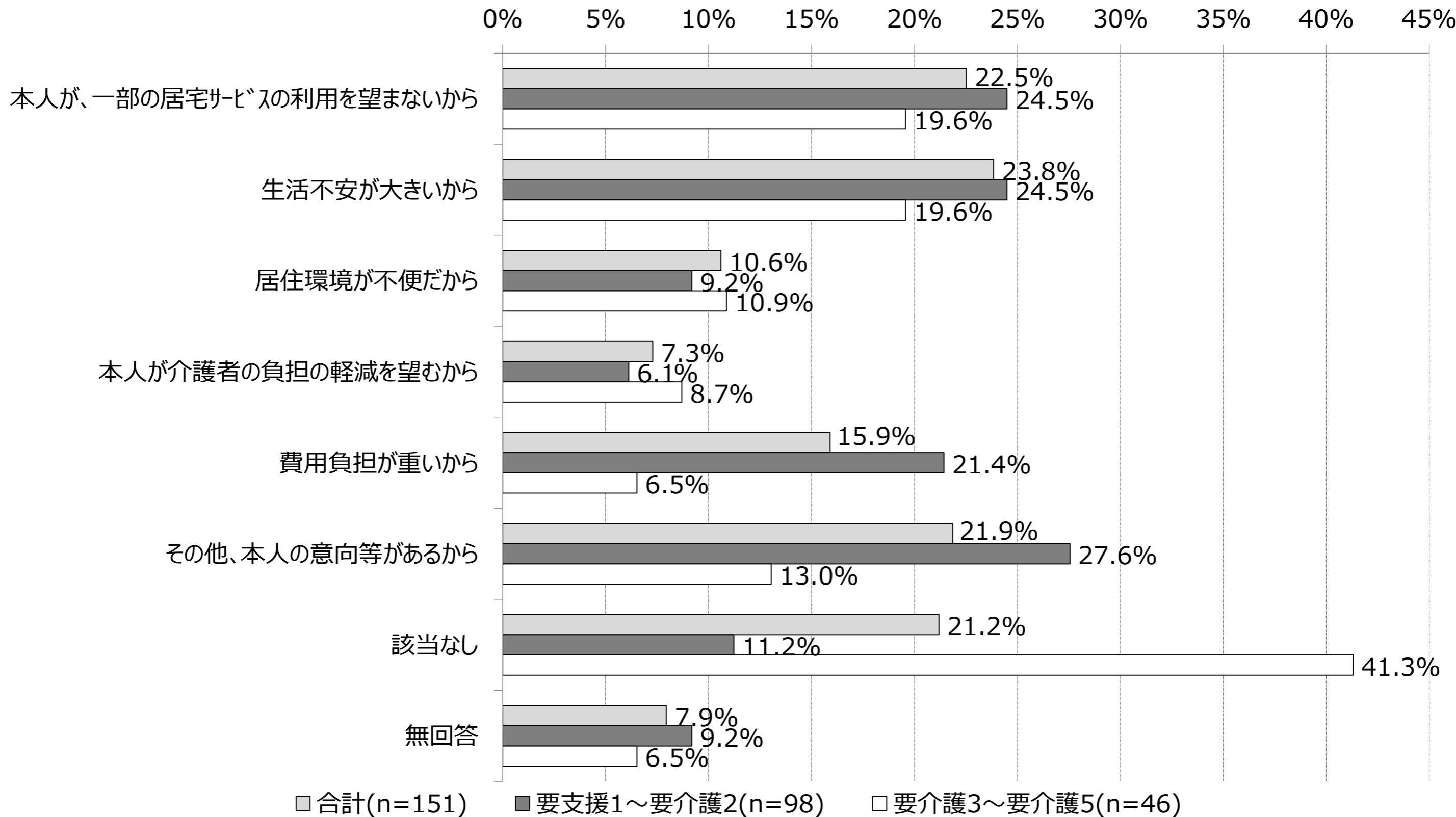
- ・「認知症の症状悪化」が62.3%で最も多く、「身体介護の増大」が55.6%、「生活支援の発生・増大」が38.4%で続きます。
- ・介護度別では、「身体介護の増大」・「医療的ケア」で要介護3以上が要介護2以下を大きく上回っています。



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

# 生活の維持が難しくなっている理由（本人の意向に属する理由、複数回答）

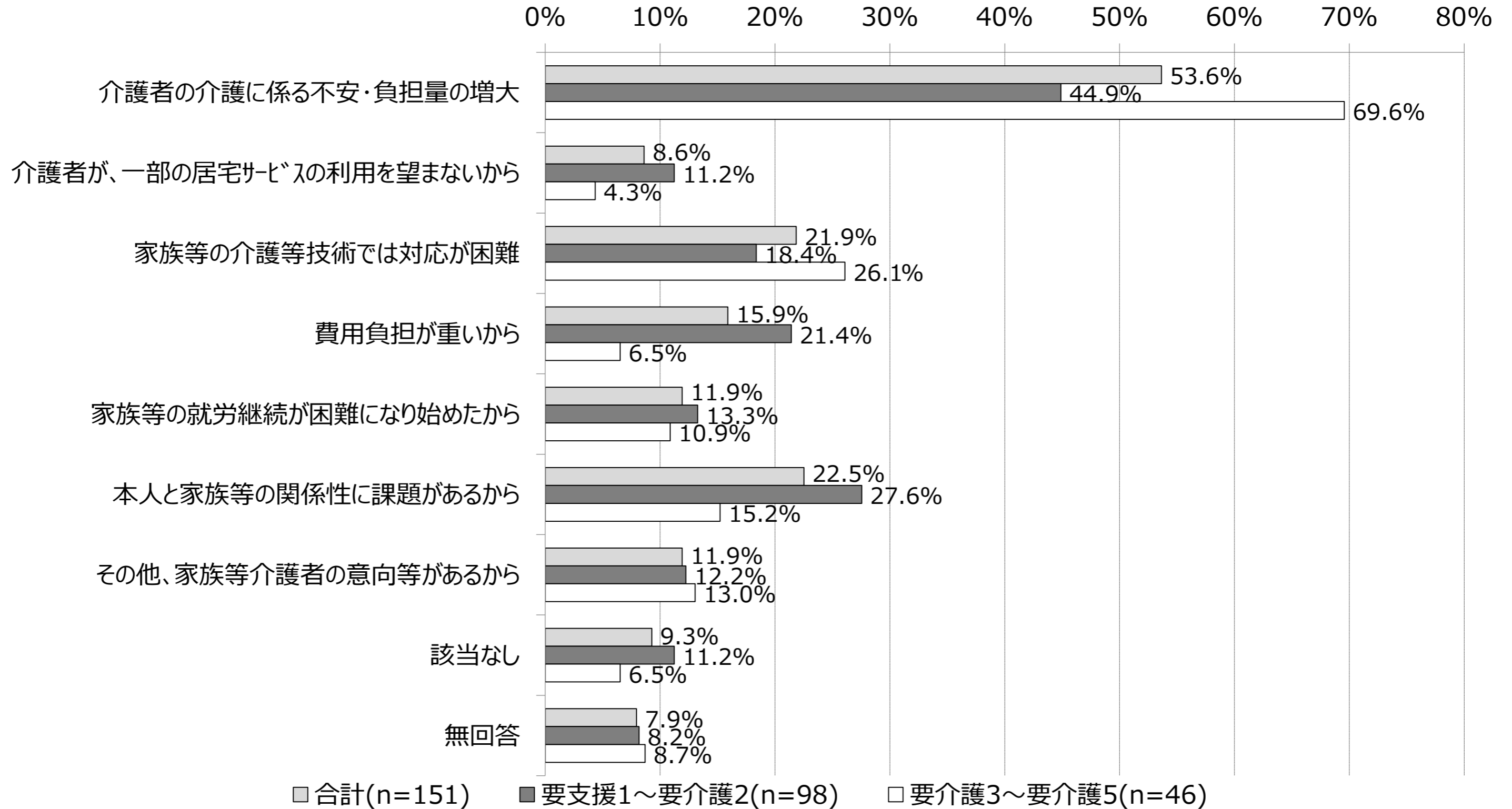
- ・「生活不安」が23.8%で最も多く、「サービス利用を望まない」が22.5%、「その他本人の意向」が21.9%で続きます。
- ・介護度別では、「費用負担が重い」・「その他本人の意向」で要介護2以下が要介護3以上を大きく上回っています。



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

# 生活の維持が難しくなっている理由 (家族等介護者の意向・負担等に属する理由、複数回答)

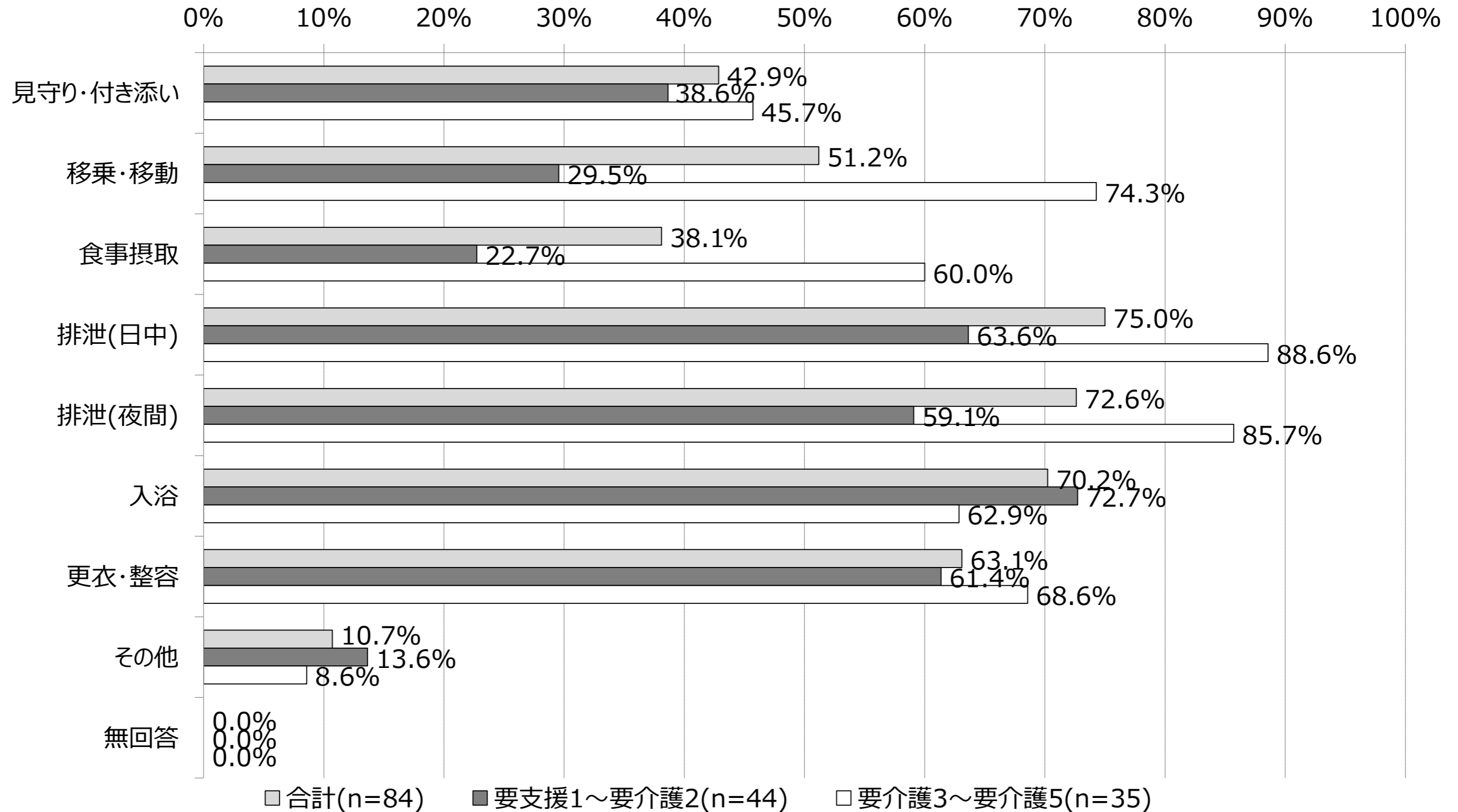
- ・「介護者の不安・負担の増大」が53.6%で最も多く、「本人との関係性」が22.5%、「家族等の介護技術では対応が困難」が21.9%で続きます。
- ・介護度別では、「介護者の不安・負担の増大」で要介護3以上が要介護2以下を大きく上回っています。



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

# 「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な内容（複数回答）

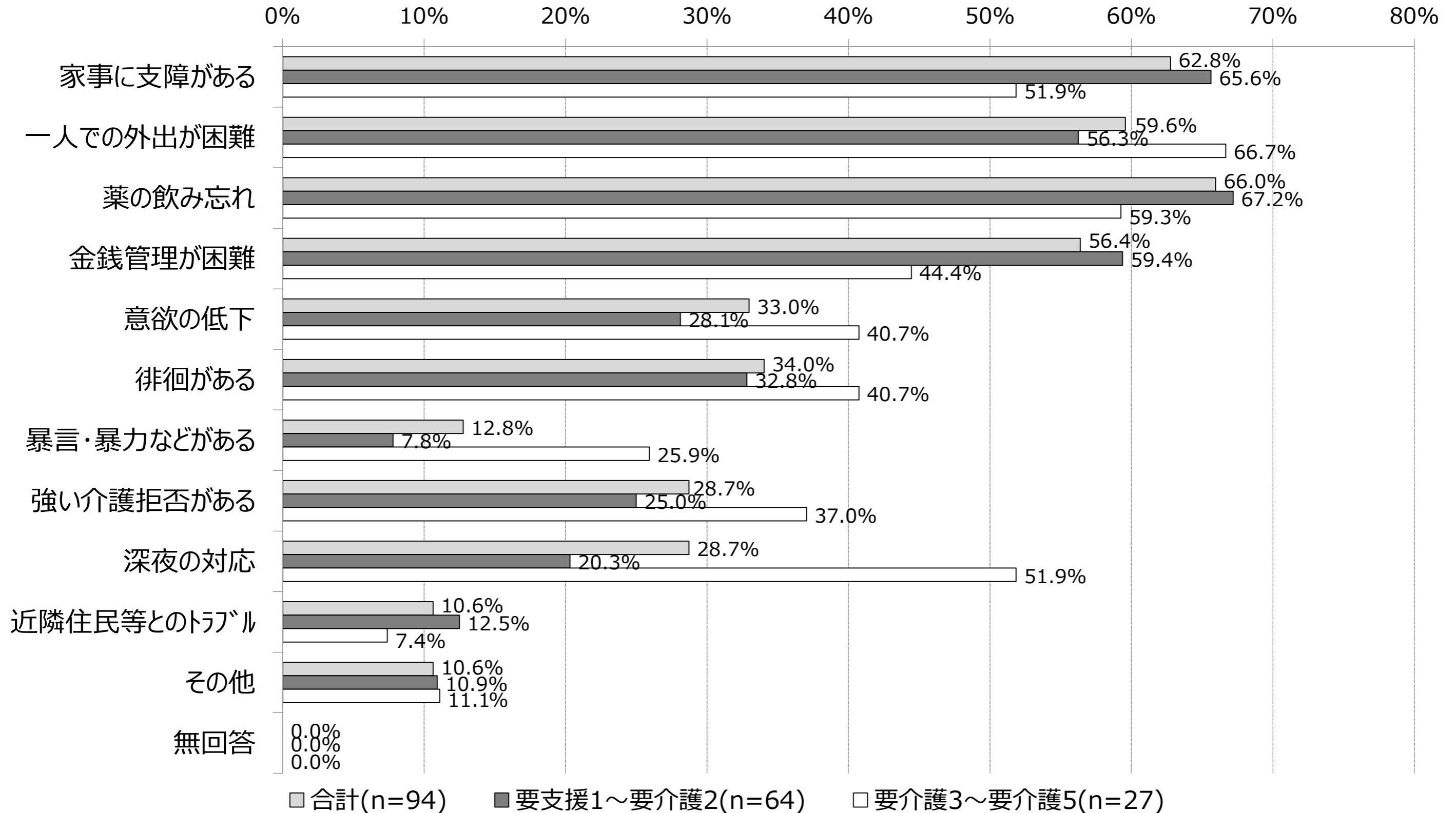
- ・「排泄(日中)」が75.0%で最も多く、「排泄(夜間)」が72.6%、「入浴」が70.2%で続きます。
- ・介護度別では、「移乗・移動」「食事摂取」「排泄(日中)」「排泄(夜間)」で要介護3以上が要介護2以下を大きく上回っています。



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

# 「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な内容（複数回答）

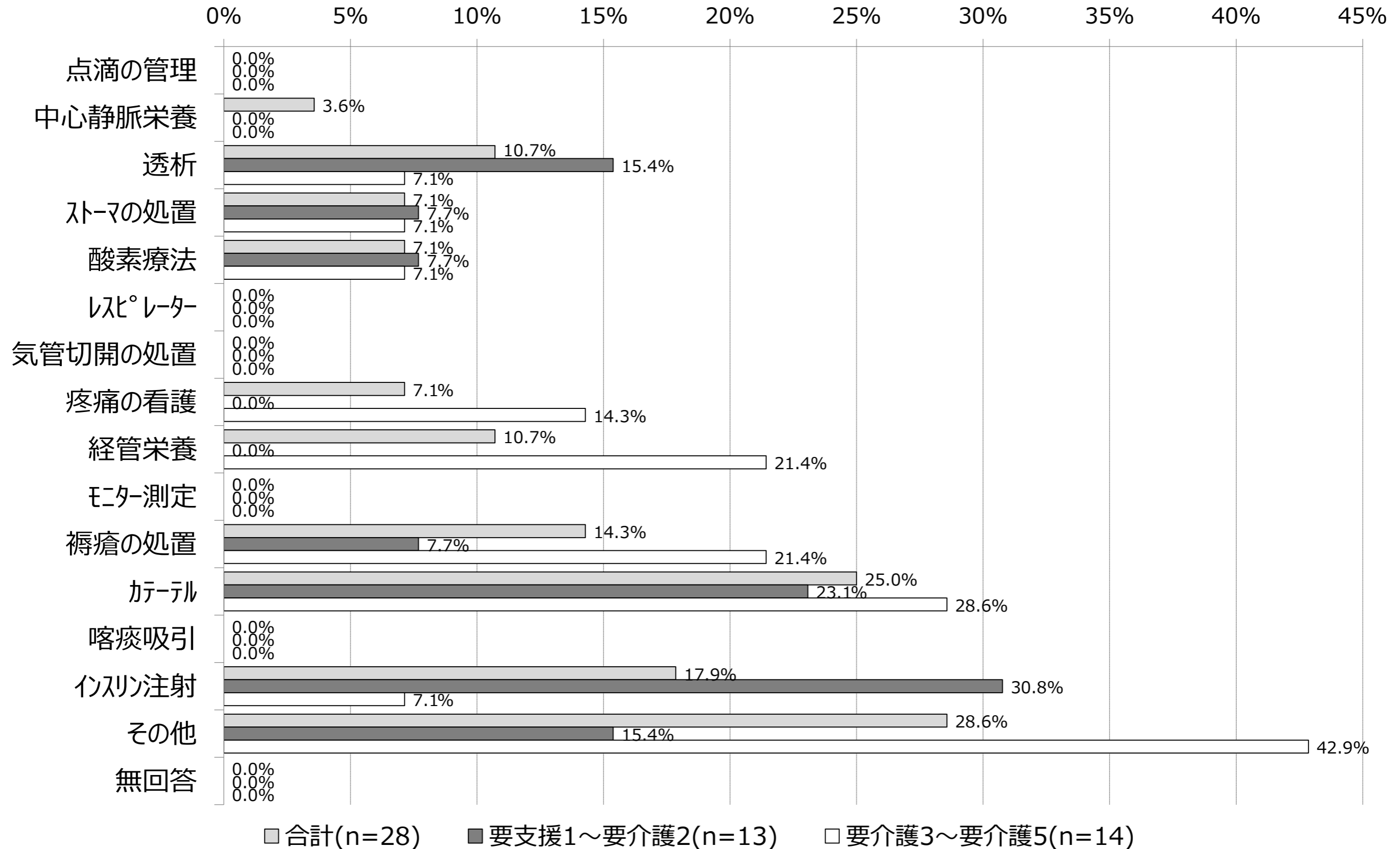
- ・「薬の飲み忘れ」が66.0%で最も多く、「家事に支障」が62.8%、「一人での外出が困難」が59.6%で続きます。
- ・介護度別では、「一人での外出が困難」「意欲の低下」「介護拒否」「深夜の対応」で要介護3以上が要介護2以下を大きく上回っています。



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

# 「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な内容(複数回答)

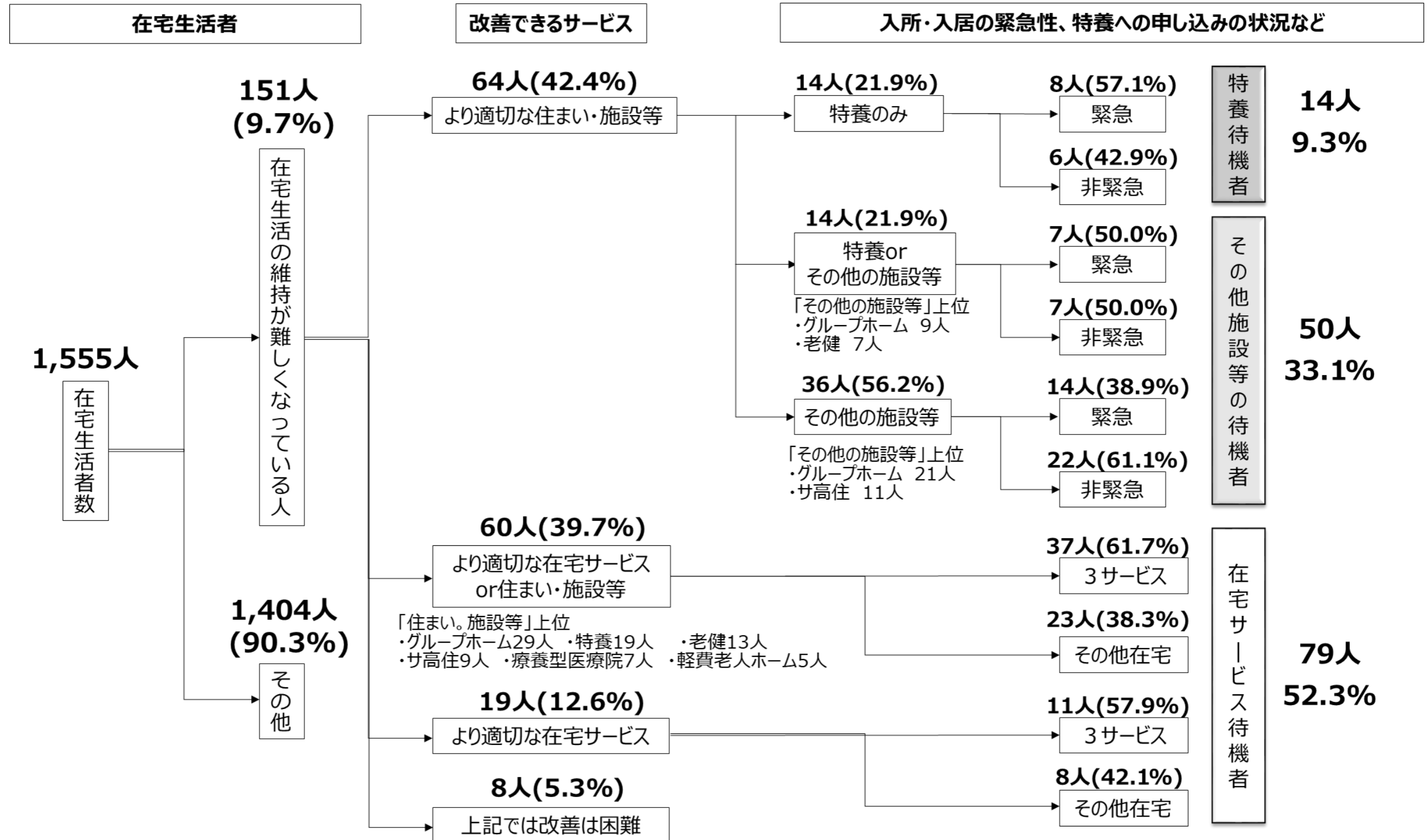
- ・「その他」が28.6%で最も多く、「カテーテル」が25.0%、「インスリン注射」が17.9%で続きます。
- ・介護度別では、「透析」「インスリン注射」で要介護2以下が要介護3以上を大きく上回っています。



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

# 「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更

- ・「より適切な住まい・施設等」が42.4%で最も多く、「より適切な在宅サービス又は住まい・施設等」が39.7%で続きます。
- ・施設の種類のについては、特別養護老人ホーム以外では「グループホーム」が多くなっています。

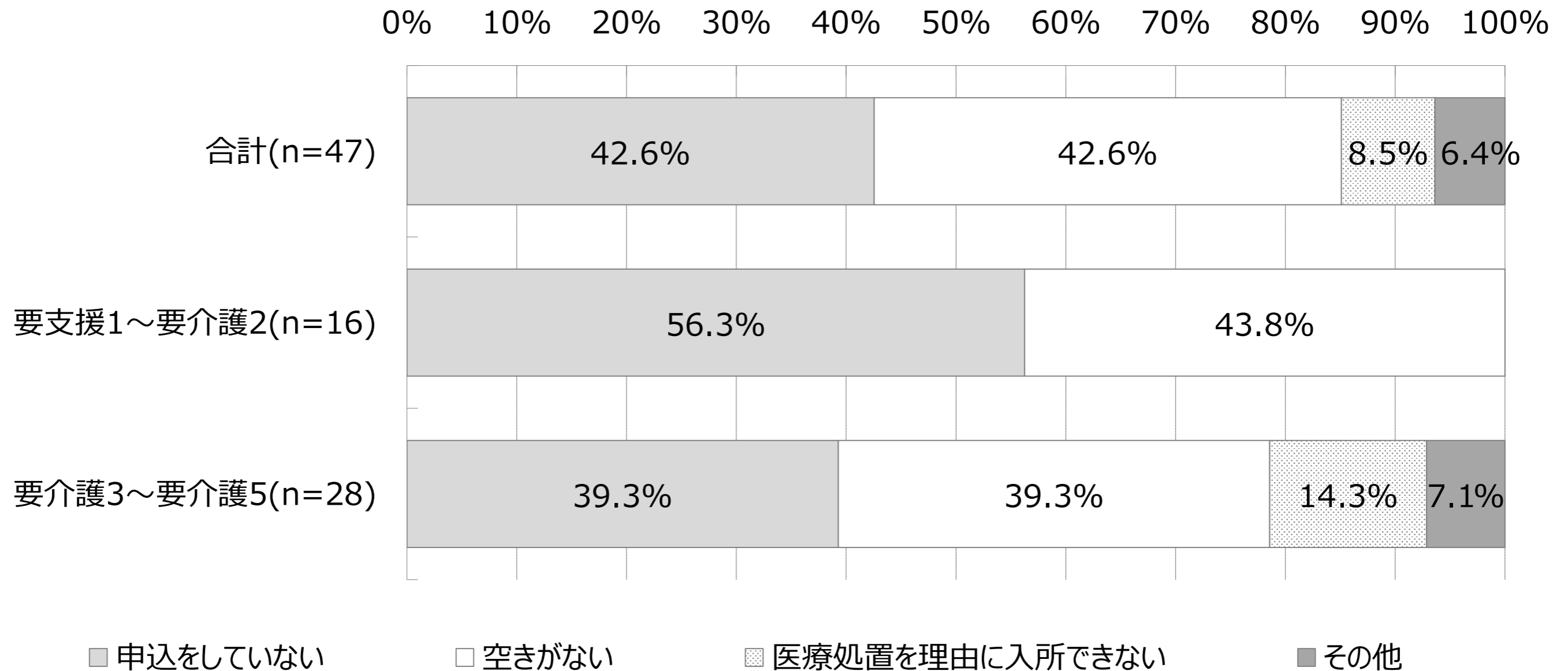


(注1) 「より適切な在宅サービスor住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。

(注2) 「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。

# 特養に入所できていない理由 (改善に必要なサービスで、特養を選択した人)

- ・「申込をしていない」と「空きがない」が42.6%で最も多くなっています。
- ・介護度別では、「申込をしていない」で要介護2以下が要介護3以上を大きく上回り、「医療処置を理由に入所できない」は要介護3以上でのみ回答されています。

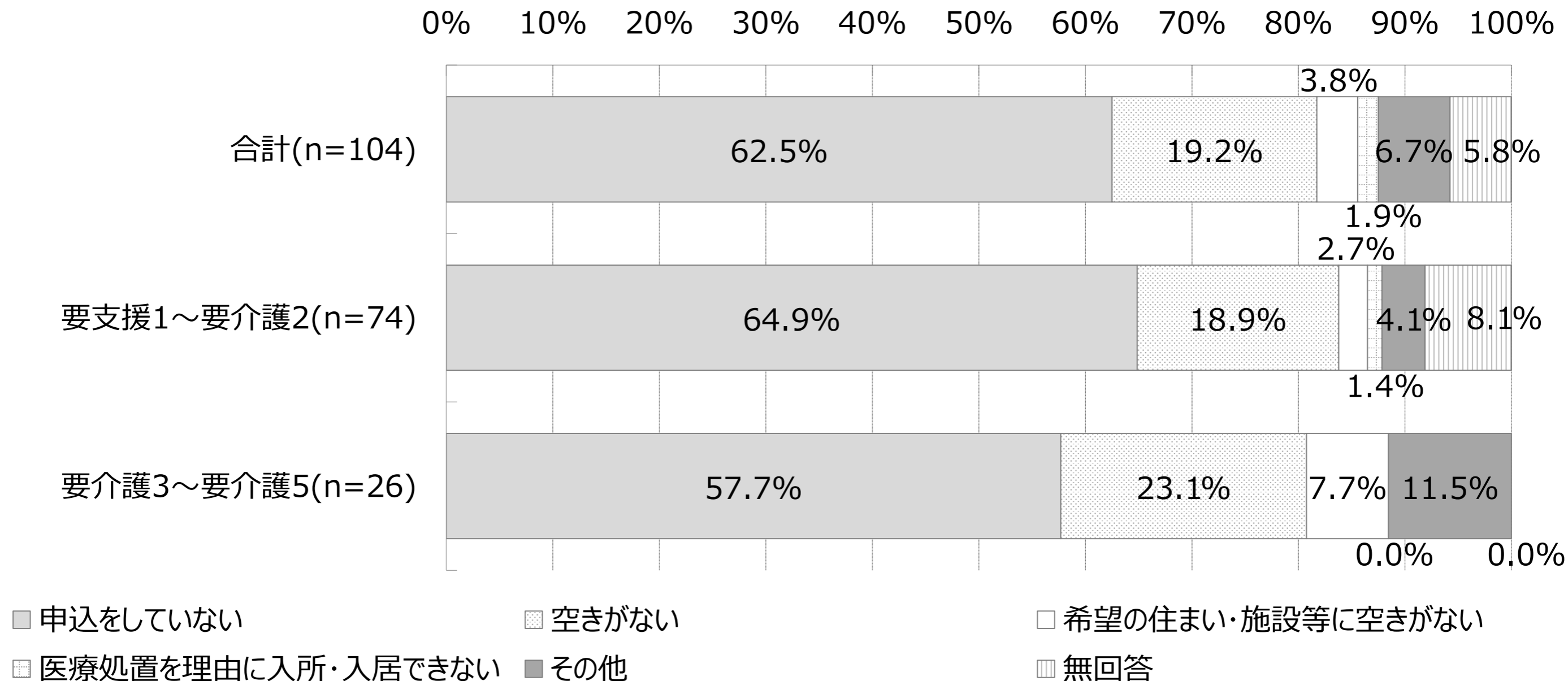


(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。



# 特養以外の住まい・施設等に入所・入居できていない理由 (改善に必要なサービスで、特養以外の施設・住まい等を選択した人)

- ・「申込をしていない」が62.5%で最も多く、「空きがない」が19.2%で続きます。
- ・介護度別では、「申込をしていない」で要介護2以下が要介護3以上をやや上回っています。

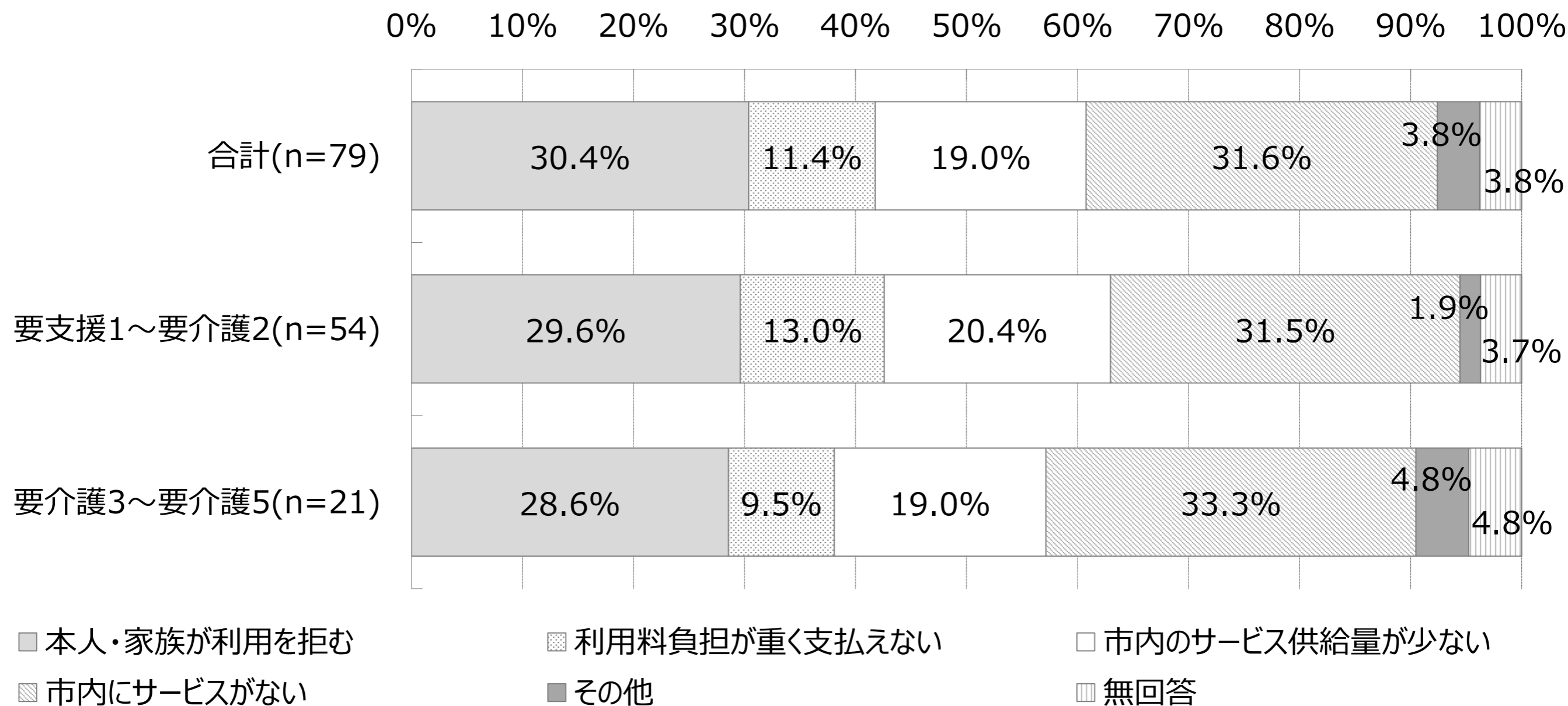


(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

# 在宅サービスを利用できていない理由

## (改善に必要なサービスで、在宅サービス、在宅サービス又は住まい・施設を選択した人)

- ・「市内にサービスがない」が31.6%で最も多く、「本人・家族が利用を拒む」が30.4%で続きます。
- ・介護度別では、要介護2以下と要介護3以上とで大きな差異は見られません。



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

# 在宅サービスを利用できていない理由のサービス別の人数

- ・サービス別では、「小規模多機能」が20.6%で最も多く、「ショートステイ」が19.8%で続きます。
- ・理由別では、「本人・家族が利用を拒む」が41.2%で最も多く、「市内にサービスがない」が22.1%で続きます。

サービス／理由	1.本人・家族が 利用を拒む	2.利用料負担が 重く支払えない	3.市内のサービス 供給量が少ない	4.市内に サービスがない	5.その他	6.未回答	合計
1.ショートステイ	12	3	4	3	2	2	26
	9.2%	2.3%	3.1%	2.3%	1.5%	1.5%	19.8%
2.訪問介護、訪問入浴	8	2	0	0	2	2	14
	6.1%	1.5%	-	-	1.5%	1.5%	10.7%
3.夜間対応型訪問介護	3	3	6	3	0	0	15
	2.3%	2.3%	4.6%	2.3%	-	-	11.5%
4.訪問看護	4	1	0	0	0	0	5
	3.1%	0.8%	-	-	-	-	3.8%
5.訪問リハ	1	1	1	0	0	0	3
	0.8%	0.8%	0.8%	-	-	-	2.3%
6.通所介護、通所リハ、 認知症対応型通所介護	8	3	0	0	1	2	14
	6.1%	2.3%	-	-	0.8%	1.5%	10.7%
7.定期巡回サービス	5	1	2	7	0	1	16
	3.8%	0.8%	1.5%	5.3%	-	0.8%	12.2%
8.小規模多機能	10	1	3	13	0	0	27
	7.6%	0.8%	2.3%	9.9%	-	-	20.6%
9.看護小規模多機能	3	1	4	3	0	0	11
	2.3%	0.8%	3.1%	2.3%	-	-	8.4%
合計	54	16	20	29	5	7	131
	41.2%	12.2%	15.3%	22.1%	3.8%	5.3%	100.0%